

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）事業 効果検証シート（令和6年度分）

担当課	総務部収納課
-----	--------

交付対象事業名	SMSを活用した通知配信サービス事業													
総合戦略での位置付け	重点戦略5 DXで暮らしを豊かにする			事業費	計画額（円）		191,000							
					実績額（円）		187,725							
事業目的・概要	<p>【目的】 税の滞納対策に限らず、健診の受診勧告など市民の知りたい情報をパッケージにした情報提供や災害時の避難指示など海拔ゼロメートル地帯という地理的特徴を踏まえた南海トラフ地震や激甚化した台風・集中豪雨等への備えを、市民団体主催のマルシェ等の市民が参加したくなる楽しいイベントの案内など市民に届けたい大切な情報や交付決定通知などをデジタル化することで、行政業務のDXを推進する。『より早く・安く・確実に』ダイレクトに手元へ届く伝達ツールを持つことで、住民とのコミュニケーション及び更なる利便性の向上を図り、「いつまでも住み続けたい安全、安心なまち」、「笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち」、「市民と行政がつながり共につくるまち」を目指す。</p> <p>【概要】 市税等の納期限を過ぎても納付が確認できない方を対象に、携帯電話やスマートフォンにお知らせのSMS（ショートメッセージサービス）を送信する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>● サービス名 「国产SMSサービス ジチタイSMS」 郵送／電話をSMSへ。メール送信のように「住民スマホ」に直接連絡。 住民の利便性向上、職員負担の軽減。</p> <p style="text-align: center;"></p> </div>													
主な成果	従来の電話催告や文書催告では「知らない番号は電話に出ない。」、「届いてない。」、「見ていない。」との問題があつたが、本サービスを活用することで、『より早く・安く・確実に』本人のもとへ未納情報が届けられる。早い段階での“気づき”は、早期の滞納解消や納期内に納められた納税者との公平性が保たれるとともに財源の確保に繋がった。													
重要業績評価指標（KPI）	指標（単位）			基準値	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度					
	催告書の発送件数（件）			1,800	1,752	1,600	1,400							
	現年度の市税収納率（%）			96.4	96.5	96.5	96.6							
事業効果	効果	②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。												
	理由	令和6年度においては1,608通分のSMSを送信。催告書の発送件数及び現年度の市税収納率とともに目標値を達成し、郵便料の削減及び財源の確保につながったと考えられるため。												

〈選択肢〉

- ①実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に大きく貢献した。
- ②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。
- ③実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にわずかに貢献した。
- ④実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に繋がらなかった。

今後の方針	方針	③事業の継続
	理由	詐欺メール対策として、定期的にホームページや広報に、市ではSMS（ショートメッセージサービス）を利用した「未納のお知らせ」を送信している記事を掲載するなど、引き続き市民に周知するとともに、導入自治体同士で送信テンプレートの共有を行い、より効果的な「未納のお知らせ」の改善に努める。また、税の滞納対策に限らず、健診の受診勧告や災害時の避難指示、イベントの案内、交付決定通知などのデジタル化など、庁内において横断的な利用が図れるよう、庁内各課の責任者に対して本サービスを紹介する。

〈選択肢〉

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

外部有識者からの評価	意見	・本事業は、行政と市民との情報伝達の在り方を改善し、収納率の維持向上に寄与するとともに、今後の行政サービス全般への展開可能性を有している。 ・高齢者層や携帯電話の利用が限定的な層に対しては、SMSだけでなく複数の手段を組み合わせることが引き続き必要である。
------------	----	---